

広報課からのお知らせ

テレビ テレビ和歌山 WTV

きのくに21 日曜 9:30・(再) 18:00
2月 6日 わかやまNO! DRUG! フェスティバル
2月13日 魅力が満載!「プレミア和歌山」
2月20日 健康でいきいきと暮らし続けるために
2月27日 知事と語る

県民チャンネル
月・火・木・金・土曜 21:55
マンスリー県政 ニュースワイド
毎月最終金曜 19:30

ラジオ 和歌山放送 WBS

県庁だより 毎日 11:40・(再) 18:00
※土・日曜は再放送がありません。
ラジオでお届け!県政最前線 火曜 15:40
放送内容・時間は都合で変更する場合があります。

第21回 和歌山県 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会
交通規制のお知らせ

2月20日(日)
11:00~
紀三井寺公園スタート

当日10:45頃~12:50頃まで、区間ごとの交通規制と感染症予防のため沿道での応援自粛にご協力をお願いします。

各市町村代表の小・中学生が和歌山市内(紀三井寺公園~和歌山マリーナシティ~和歌浦~雑賀崎~県庁)の21.1km(10区間)を駆け抜けます。
問:県教育庁スポーツ課

通行禁止 通行規制 通行可能 車線規制あり

知事メッセージ

県民の皆様へ



2つの総点検

災害は忘れた頃にやってくるという諺がありますが、至言だと思えます。災害の時のことをいつも思い出し、考えながら、常に対策と心構えを怠らないことが大切です。その時、将来起こりそうなことを予測し、対策を立てておくことは、人間の能力に限りがあるので、かなり難しいと思えます。しかし、起こったら、それを教訓に、二度と起こすまいと対策を整備しておくことはそんなに難しいわけではありません。また、他で同じような事が起こらないか、災害の教訓を生かして考えることも大事であります。この見地から、和歌山県では、最近2つの総点検を全県的に実施しています。

1つは、令和3年7月3日、熱海市伊豆山地区で発生した盛土の崩壊による土砂災害です。報道などでだんだんと分かってきたことですが、安全対策を怠った業者もいけないと思えますが、それを看過してきた県や市の規制や監督もおよそ行政の体を成していないと思えます。和歌山県では、近年規制を強化して監督をしていますので、今あれほどのことを見逃しているとは思えないのですが、それでも忘れられてきた危ない盛土はないか、住民の皆さんの申し出や衛星観測など科学技術の助けも借りて、徹底的にチェックを行いました。

また、和歌山市の水管橋の落下は、和歌山市を中心に国も県も産業界も協力して応急復旧から本格復旧に進みつつありますが、全県で同じような事が起きないか、水道のみならず全ての生活インフラで他にこのような脆弱な設備はないか、また、もしその設備が壊れた時、ほかの手段でその脆弱性をカバーする仕掛けがあるかどうか、県が中心となって市町村、国、民間インフラ企業も入ってもらって、徹底的に調査を行っています。

我々は全能ではありませんが、何か災害が起こり悲劇が生じた時、そこから学び、他の問題も想像し、そのことへの備えを行うことは可能です。そこまでやるか否かは、それによって県民の安全を守ろうとする意志の問題であります。

和歌山県知事 仁坂 吉伸

広告 県収入の一部とするため有料広告を掲載しています。県庁広報課 ☎073-441-2032



手話表現紹介動画はこちらから



総合評価値 80

・古紙パルプ配合率
※残りは、その他の持続可能性をめざしたパルプを使用
・塗工量

70%以上
30g/ml以下

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙でリサイクルできます。